

多彩な農産物の生産が行われ、多様な農村地域がある神戸市の農業委員の地元を紹介しています。
今回は、自然環境に恵まれた緑豊かな神戸市西区岩岡町で、がんばっている農家さんをご紹介します。

【神戸市西区岩岡町】

神戸市の最西部に位置し、古くから神出と播磨地方を結ぶ交通の要路で、町内はのどかな農村風景が広がっています。水利に乏しく雑木林が点在する土地でしたが、元禄時代から開発が行われ、明治以降の淡河・山田疎水や東播用水の完成により、農業が盛んな地域に生まれ変わりました。商業作物として開かれた煙草畑には、明治に西洋の品種と技術がいち早く導入され、近代煙草栽培の発祥地とされています。近年、都市化が進んでいますが、キャベツやイチジクなど多くの作物も栽培されています。

異業種から農家へ！がんばる農業者

きのした まさき
木下 真規 さん

木下真規さんは、10年前にアパレル会社を辞め、家業を継ぐ形で就農しました。現在では、「こうべ旬菜」の岩岡キャベツ部会で副部会長を務めるなど、若手の代表として部会を引っ張っている大きな存在です。

キャベツは神戸市内で生産量が一番多い野菜で、その多くを岩岡町で生産しています。出荷時期には木下さんは、朝5時に起きて畑へ向かい、キャベツ一つ一つを専用の包丁で刈り取り、神戸をはじめとした京阪神に出荷しています。



【労働力は？】

本人、父、母

【耕作面積は？】

キャベツ畑 100a

【出荷は？】

1日約100ケース出荷

最盛期には1日約800個を収穫

出荷期間は11月頃から翌年の5月頃まで

【キャベツ作りをしていて苦労していることは？】

天候に左右されること。去年でできたことが、今年は通じないなど天候が変わればやり方も変わってきます。

肥料の分量にも気を遣います。雨で肥料が流れて肥料切れでうまく育たなかったり、逆に水が少ないと肥料焼けするので、苦労しています。

【木下さんのキャベツの特色は？自慢できることは？】

一番の魅力は鮮度がいいことです。

化学肥料や化学合成農薬の使用を通常栽培よりも減らしています。良いキャベツには土づくりも大切で、地元で生産された堆肥や有機質肥料を使用しています。

春キャベツは柔らかくて、生のままのサラダなどのフレッシュな状態で食べられます。冬キャベツは葉も茎も立派になるので、火を通す料理向きです。塩・コショウだけ味付けだけでも美味しく、ロールキャベツにも向きます。



【農業をやっていると楽しいことは？】

計画通り出来たら嬉しいし、いいモノが出来たら楽しいです。やればやれるほど成果が見えるのでやりがいがあります。

【これから農家を目指す方にメッセージを。】

頑張ったら頑張った分、モノになります。自分で経営できるので、働けば働くほど収入も増えます。自由に作業プランも立てられるので、自由時間も確保しやすいです。

【木下さんがこれから頑張っていきたいことは？】

岩岡の歴史あるキャベツ作りを維持することです。キャベツ栽培の仲間を増やして、たくさんの人に岩岡のキャベツを食べてもらいたいです。

キャベツはビタミンC、ビタミンK、カロテン、カルシウム等を豊富に含む栄養価の高い野菜。